

シグマ研究委員会 ガス生成核データWG会合議事録

日 時 : 1984年6月7日 13:30~17:30

場 所 : 原研本部第7会議室

出席者 : 杉(原研), 山越(船研), 中村(富士電機), 八谷(三井造船),
浅野(住友原子力), 川合, 飯島(NAIG)

配布資料 :

- (1) GAS-84-1 ガス生成核データWGの成果と今後の作業(飯島)
- (2) GAS-84-2 新しいGNASHコードについて(川合)
- (3) GAS-84-3 NESTORに格納されているデータ, 及びTHRESH-2
計算と測定との比較(杉)
- (4) GAS-84-4 統計理論計算のシステム改善(飯島)
- (5) GAS-84-5 THRESH-2コードの方法(飯島)

議 事 :

1. 資料GAS-84-1(4月13日運営委へ提出)について, 飯島氏から, 今迄の成果のまとめと, 今年度以降の計画案について説明があった。今後計画の
主点は, (i)新しいGNASHを用いること, (ii)GNASH入力 of システム化,
(iii)THRESH-2パラメタの再評価, (iv)構造材域の threshold reaction
cross section of JENDL-3のための評価である。
2. 資料GAS-84-2について, 川合氏から, 新しく入手したGNASH改良版
の内容, 整備, テストについて説明があった。詳細確認をFeについて行う予
定。その入力を山越が供給する。

又, GAS-84-4について, 飯島氏から, GNASH用JOBSETTERコ
ードの作成準備(核データセンター中川氏担当)が進められていること, 及
びその入力パラメタファイル作成の考えの説明があった。レベルスキームは,
ENSDFからもってくるが, その作業は中川氏と, 原研片倉氏の協力で可能
な見込み。レベル密度パラメタについては, 本WGの作業が必要で, 次回に
具体的に内容を討議する。

3. Q値表作成状況について、浅野氏から説明があった。出力フォームの最終確認文が残って居り、次回に出力例を提示する。その後、JAERI-memoとする。GNASHパラメタファイルに必要な核種も、この表により明確になることが期待される。
4. 資料GAS-84-3について、杉氏から、THRESH-2計算と測定値との比較プロットがTi-Cuについて示された。これについて、JAERI-M又はmemoとして早めにまとめて刊行することが強く奨められた。
5. 資料GAS-84-5に沿って、飯島氏からTHRESH-2の手法の概要のサマリーの説明があった。(但し、この資料は完全では無く、一部誤りもある。)

次回予定

日 時 : 1984年7月12日(木) 13:30~17:30 於原研本部

議題予定 :

- (1) Q値表出力の検討
- (2) NESTORコメントリストから、測定法、内容を洗い出す。
- (3) THRESH-2改訂の方策と分担の討議
- (4) JOBSETTER (GNASH) のパラメタファイル、特にレベル密度パラメタファイルの作成について